

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三次市立甲奴小学校		
学校長氏名	田中 弘記	栄養教諭氏名	村上 恵美子
職員数	13名	児童・生徒数	75名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 多くの児童が給食を残さず食べているが、個別に偏食等の課題がある児童がいる。
- 食に関する興味・関心は年々高まっている。
- 正しい食事のマナー（箸の持ち方など）が定着していない児童がいる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 食教育目標
食事や自らの健康に関心をもち、進んで望ましい生活習慣を身に付けようとする児童を育てる
- 学校自己評価表・指標
朝食・睡眠に関するアンケートで肯定的に評価する児童の割合 目標値：70%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）朝食の喫食率と内容向上のための取組

○学級における指導

学級担任と連携し、朝食の大切さや役割、栄養バランスのとれた朝食についての授業を実施した。また、保護者の参加しやすい時期を考慮して食についての話をしたり、食育参観日などを設定したりして効果が上がるよう計画した。



○保護者への啓発

食育参観日に保護者を対象とした食育ミニ懇話会を実施し、本校における朝食アンケートの結果や栄養バランスのとれた朝食にするためのポイントなどについて話をした。簡単みそ汁の素「みそ玉」のレシピ配布や試食も行った。

【取組2】（テーマ）食事マナーの向上及び定着

○給食時間における指導

学級担任による日々の食育指導のほか、養護教諭と栄養教諭による給食指導も実施した。正しい箸の持ち方や使い方、日本食のマナー、魚の食べ方などについて指導した。学期末には学級担任にアンケートを実施し、各学級のマナーの定着度や課題を把握し、次の指導内容等について検討した。

○たてわり班給食の実施

各学年での食事マナー指導ののち、実践の場としてたてわり班での給食を実施した。箸の持ち方や食べる姿勢など個別の状況を把握するとともに、食事中にふさわしい会話などの実践的な指導も行った。

【取組3】(テーマ) 教科等と食育が連携した取組

○外国語活動との連携

4年生外国語活動「What do you want? (ほしいものはなにかな)」の単元では、バランスのよい給食メニューをつくるという目標を達成するために、栄養バランスについての学習を取り入れた。

また、楽しみながら英単語にふれる機会の設定と箸の正しい持ち方の習得をめざした掲示資料「Food Tree」(英語で記された場所に箸で食品模型を運ぶ)を作成した。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○夏休み親子クッキング教室の開催

三次市教育委員会と連携し、ひろしま給食メニューの調理及び試食を行った。市内栄養教諭及び学校栄養職員がひろしま給食の概要説明、レシピ紹介、食材調達など分担をして実施した。地場産物を活用した学校給食の取組やひろしま給食の啓発ができた。



○J A三次女性部との調理講習会

J A三次女性部と連携し、調理講習会を開催した。メニューの中にひろしま給食を入れてもらい、一緒に試作・試食をし、感想等を交流した。ひろしま給食を周知し、親しんでもらうよい機会となった。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 児童アンケートより、朝食の摂取率は高いがその内容に課題があることを明らかにすることができた。
- 食育ミニ懇話会を実施したことにより、保護者の朝食への意識の高まりが感じられた。また、保護者へ啓発することによって、児童からも朝食の内容に関わる話題が聞かれるようになった。
- 学習内容と給食指導の関連性を意識した指導により、児童の食への興味・関心の高まりをより感じられるようになった。

【課題】

- 主食だけや菓子・菓子パンだけといった朝食の内容について課題のある家庭がある。
- 食事のマナーでは、正しい姿勢は定着しつつあるが、箸の持ち方には課題が残る。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 充実した朝食の内容については、食育だよりなどの配布資料や、今年度の食育懇話会のような家庭へ啓発する機会を設けるなどして、継続的に情報発信をしていく。
- 児童へ朝食の大切さを理解させるとともに、自分でできることを考え、日々の生活に活かせる実践的な指導の実施をめざす。